

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
誉田駅周辺地区

平成23年1月

千葉県千葉市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	駅からの徒歩5分圏域	ha	4.5	19.7	17.8	確定 ● 見込み	△	あり なし ●		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	指標は達成しないものの、駅北側からの南口への迂回の回避、地域内移動における迂回が軽減された。
指標2	幹線道路の安全すれ違い率	%	14.1	54.6	43.9	確定 ● 見込み	△	あり なし ●		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業の進捗が遅れ、地域全体としての道路網を整備するまでに至らなかったことが未達成の直接の要因である。
指標3	抜け道利用車両の排除	台/時	158	0	8	確定 ● 見込み	△	あり なし ●		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	誉田町215号線の一部供用開始に伴い、地区内の交通環境が向上することにより、抜け道利用車両を排除することが出来た。
指標4	南北連携効果時間	分	11	2	2	確定 ● 見込み	○	あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	鉄道による地域の分断が解消され、地区内移動における速達性の向上により、目標の達成に寄与している。
指標5	身近な憩い空間の確保	人	880	1,180	1,180	確定 ● 見込み ●	○	あり なし	1,290	H22年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	予定した地域内の新たな公園の確保のほか、その他各種基盤施設の整備や地元主催のイベント開催などによる快適な居住環境の確保により、目標を上回る人口の増加となった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	誉田駅への行きやすさ及び南口・北口の往來のしやすさ	%	/	/	58.5	確定 ● 見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	北口駅前広場及び幹線道路の一部区間を整備したことにより、利便性が向上した。
その他の数値指標2	幹線道路の利用のしやすさ及び安全性	%	/	/	61.5	確定 ● 見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	幹線道路の歩車道を分離したことにより、安全性が向上した。
その他の数値指標3			/	/		確定 ● 見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために行う方策 	南北間の交流の強化	十文字公園や北口広場公園を整備し、南北交流のためのイベントの活用など積極的に利用してもらうよう働きかけを行っている。	整備した公園で地元主催のイベントが行われ幅広い住民に利用された。	イベント開催等について引き続き地元との協働体制を継続し、南北間の交流を強化する。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	地区内の交通環境の向上	自転車歩行者道の整備を行った。	一部区間において安全な歩行者空間が確保された。近隣小学校の通学路としての安全性が向上した。	全区間における歩行者及び自転車の安全性を確保できるように、自転車歩行者道整備の推進を図っていく。バスの運行本数の増便等を交通事業者に働きかける。
	住民参加のまちづくり	引き続き誉田駅周辺まちづくり協議会を開催し、議論を重ねた。	まちづくり事業に対する地元住民の方々からの要望等がだされ、今後の事業促進の参考となる意見交換を行うことができた。	今後も協議会を継続し、地域住民の意見を反映させ誉田駅周辺の利便性や生活環境の向上を図っていく。
	良好な居住環境の誘導	居住者アンケートや公園利用者アンケートを実施し、事業実施による整備効果を把握した。	一定の評価を得られ良好な居住環境の向上が確認された。	更なる居住環境の創出に向けて、引き続き公園近辺の歩道整備を進めることにより、公園へのアクセス性を高める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項